

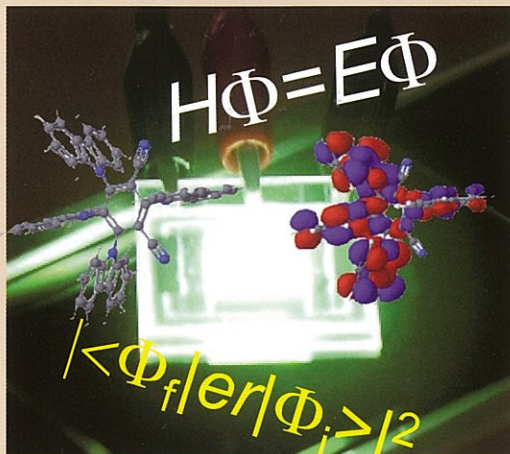
平成26年度 千葉大学工学部公開講座

未来を拓く半導体材料のイノベーション ～ナノサイエンス学科の研究紹介～

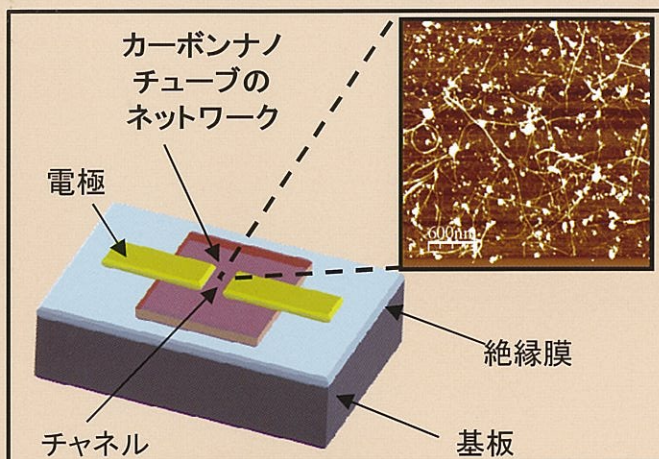
平成26年11月2日（日）13:00～16:00

主催 千葉大学工学部

後援 千葉市教育委員会



電気ので有機分子が光る
『有機EL素子』



カーボンナノチューブネットワークで
作製した電界効果トランジスタ

<プログラム>

近年実用化が進む有機半導体材料と、次世代の半導体素子として利用が期待されるナノカーボン材料の2つの分野について、それぞれの分野の第一人者が解説します。

◇13:00～14:20

「有機分子を光らせるサイエンスとテクノロジー：量子化学から有機ELディスプレイまで」 教授 石井久夫

電気を流して有機分子を光らせる『有機EL素子』は、携帯電話のディスプレイなどで活用され、テレビ、照明などへの応用も進められています。いくつかの演示実験をまじえながら、有機分子の量子力学の初歩を講義し、「どのようにして有機ELが光るのか」を研究動向を含めて解説します。

◇14:40～16:00

「エレクトロニクス材料の変遷：シリコンテクノロジーの限界とナノカーボンへの期待」 准教授 青木伸之

エレクトロニクスの発展はシリコンを中心とした微細化技術に支えられてきましたが、近い将来に限界を迎えようとしています。次世代のエレクトロニクス材料として期待されるナノカーボン材料について、その特徴と最新の研究動向について紹介していきます。

◇会場 : 西千葉キャンパス
工学部17号棟113講義室

◇定員 : 50名(先着順)

◇受講料: 無料

◇対象 : 中学生, 高校生, 一般の方

当日は大学祭や入学相談会, 工学部祭, 工学部模擬講義(予約不要)も開催されます。公開講座と合わせて, 是非ご参加ください。

<お申込み方法>

メール・はがき・FAXに公開講座受講希望と記し, 参加希望者の氏名・住所・電話番号を記載のうえ, 10月30日(木)までに下記宛にお申し込みください。

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学工学系事務センター学部学務グループ

メール: mak3054@office.chiba-u.jp

電話: 043-290-3055 FAX: 043-290-3076